

# 守る会NEWSLETTER

URL:<http://homepage3.nifty.com/save-teiji/>

都立定時制高校を守る会・連絡会 事務局発行

## 来てみませんか？ 定時制を守る会総会へ

「追加募集」で大混乱を招いた昨年の入試。今年もその「後遺症」は、依然として現場を厳しい状況に追い込んでいます。5月15日の都高教による都教委要請では、「多様な生徒をたくさん抱えた担任は精神的にまいっている」「本来8学級規模が現在10クラス。教員も大変だが、施設・設備面でも苦慮している」などの悲痛な声があがりました。

さらに、今年度入試の2次募集では、130人以上とも言われる大量の不合格者を出してしまいました。昨年の不合格者313人に引き続き、重大な事態であり、都教委の責任は免れません。

皆さんの意見をまとめ上げ、今後の「定時制を守る会」のあり方を語り合しましょう。以下の要領で総会を開きます。ご参加をぜひ。

**場所：豊島区民センター** (JR池袋東口下車5分)

**日時：7月16日(土) 夕方6時から**

### ふろぐらむ

- ① 執行部挨拶
- ② 今年の入試を振り返って
- ③ ミニ講演
  - 森代表から～10年を振り返って
  - 退職教員から
- ④ 活動報告・方針確認&交流
- ⑤ 今年度の体制確認



# またも繰り返された都教委の無策！

## 定時制二次試験で「大量不合格」

～2011年度入試を振り返って～ (守る会事務局)

都教委の資料によれば、今後10年以上にわたって中学卒業生が増加します。その中で、たまたま今年3月の中卒者だけは若干減少します。その「対応策」として、都教委は全日制で47学級減を強行しました。

定時制に与える影響はどうか、私たちは不安とともに入試の時期を迎えました。近年、定時制、とりわけ多摩地区の夜間定時制が満杯状態で、二次試験では多くの受験生が不合格とされてきました。昨年は300人以上の不合格者が出て、社会問題になったことは記憶に新しいところです。

今年是一次試験の段階で、数校で定員を越す応募があり、今年も厳しい状況であることが予想されました。そして3月28日に行われた二次試験では、私たちの不安がまさに現実になってしまったのです！

多摩地区の普通科夜間定時制5校(農業高校の普通科を含む)は、応募者がすべて定員を越え、低くても1.54倍、高いところでは3倍にもなりました。5校合わせて50人ほどが不合格となっています。また、職業科以外でも、30人ほどが不合格となり、多摩地区だけで80人以上の不合格者が出ました。結果として、多摩地区の定時制ではどこも満杯で、全く空きがない状態となっています。

23区内でも、似たような状況があり、多くの不合格者が出ました。

全都的には130人以上の不合格者が出たと考えられます。各校では、定員を越えて極力多くの生徒を受け入れようとギリギリの努力をしています。しかしそれも限界です。2008年度入試までは、定時制二次試験での不合格者は、二桁で推移してきました。それが2009年度には114人となり、昨年度(2010年度)には313人となって社会問題化したのです。そして今年は、先ほど見たように全都で約130人以上もの不合格者が出てしまいました。昨年あれほど大変な事態になったにもかかわらず、都教委は何の対策も打たずに、この事態を招いてしまったのです。

「定時制を守る会」では、昨年8月に、都教委要請行動を行いました。その時にも、都教委は「(2010年4月の)追加募集で混乱があったのは認識している」「定時制の募集枠は用意していると思っている。募集枠の拡大は考えていない」などと回答するのみ。現場からは、「枠などどこにあるのか。多摩地区の子が、23区の学校に通えるわけがない。机上の空論だ」「計画進学率が96%なのに実質は89%だ」「計画の破綻を何故認めないのか」などと怒りの声が上がりました。

今後とも、募集停止校の募集再開・新規開校などを軸に、定時制の募集枠拡大を求めていく必要があります。力を合わせて大きな運動を作っていきましょう。

① 7月～8月に都教委要請を準備しています(日時は未定)。ぜひお集まりください。

② 守る会の口座ができました。

口座番号は 00180-4-385876 (口座名称は「都立定時制を守る会」)

一口1000円です。振り込んでいただいた方にはニュースなどをお送りします。